防犯カメラ: ES-CD241シリーズ



取扱説明書

2017年5月更新 (設置工事説明書付)

● アナログ52万画素シリーズ

ドーム型・画角自由調整型(バリフォーカル)レンズ

ホワイト: ES-CD241AW/V ブラック: ES-CD241AB/V ● AHD200万画素シリーズ

ドーム型・画角自由調整型(バリフォーカル)レンズ

ホワイト: ES-CD241PW/V ブラック: ES-CD241PB/V



このたびは、当社製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとう御座います。 当取扱説明書をよくお読み頂き、正しく安全にご使用下さい。 特に、取扱説明書内に記載して御座います電気安全事項は遵守してくださいますよう、お願い申し上げます。 尚、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

目次

| 1. | 安全上のご注意(必ずお守りください) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 3 |
|----|---|----------------------------|
| 2. | 同梱付属品 | 3 |
| 3. | 商品概要 | 3 |
| 4. | 配線全体接続例 | 4 |
| 5. | 配線ケーブルご使用の際のご注意 映像ラインのケーブル選定 電源ラインのケーブル選定 共通の注意事項 一体型ケーブル以外を配線した場合の、必要なコネクタ類 | 6 6 6 6 |
| 6. | 設置工事(全体の流れ) ① カメラ設置位置の選定 ② カメラケーブルの逃がす方法の決定 ③ カメラ設置面に対する支持材選定 ④ 配線ルートの確保と配線工事 ⑤ カメラの設置 ⑥ 屋外で電源・映像一体型ケーブルを使用してカメラと接続した接続部分の保護方法・・・・ ⑦ カメラ映像画角の調整 ⑧ バリフォーカルレンズの調整 | 7 7 8 8 9 9 |
| 7. | 画角調整方法 | 11 |
| 8. | 赤外線LEDについて ······ | 15 |
| 9. | レコーダーで本機を録画するときの注意点 アナログ52万画素シリーズの場合 AHD200万画素シリーズの場合 | 15 15 15 |
| 10 | . 本機画素数とモニター画素数 | 15 |
| 11 | . カメラ外観図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 16 |
| 12 | カメラ仕様(アナログ52万画素シリーズ) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 16 |
| 13 | . カメラ仕様(AHD200万画素シリーズ) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 17 |
| 14 | . アフターサービスについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 18 |

1. 安全上のご注意(必ずお守りください)



警告事項

- ① 設置工事は電源工事が必要な場合も御座います事から、工事業者が行って下さい。
- ② 異常が見られた場合には、全ての電源(コンセントを抜く等)を遮断して触れないようにしてください。 放って置きますと、火災の原因になります。
- ③ 分解しないで下さい。機器内部に人体が触れますと感電する可能性があります。
- ④ 水気・湿気の多い場所に置かないで下さい。
- ⑤ 濡れた手で触れないで下さい。感電・火災の原因になります。
- ⑥ 設置工事の際、筐体・躯体へ止めるときは必ず決められた部材(アンカー・コンクリートビス等)で設置してください。 落下の原因になります。
- ⑦ 雷の際の工事は直ちに中止してください。また配線の一切に触れないで下さい。
- ⑧ コード・ケーブル類の破損の恐れがある場所への配線は避けて下さい。
- ⑨ 電源プラグは確実に差し込んで下さい。また定期的にプラグの清掃をお願い致します。



禁止事項

- ① 専用アダプタへの電源は必ずAC100Vを接続してください。
- ② 機器へは必ず決められた電源を供給してください。
- ③ ケーブル類は必ず決められた太さのケーブルを使用してください。感電・火災の原因になります。
- ④ 仕様表に基づく使用環境を遵守して下さい。

2. 同梱付属品

① カメラ本機
 ② 角度調整用六角レンチ
 ③ カール P C プラグ (緑色の部材)
 ④ 木ネジ
 ⑤ 取扱説明書
 ⑥ 製品保証書
 1 台
 4 本 ※ コンクリートの壁面設置時のみ使用、天井面使用禁止
 4 本
 ※ コンクリートの壁面設置時のみ使用、天井面使用禁止
 4 本
 ※ コンクリートの壁面設置時のみ使用、天井面使用禁止
 4 本
 5 取扱説明書
 1 冊

電源アダプタ、ケーブル関連は別売りです。

レコーダーとのセット商品の場合はケーブル・アダプタが付属します。

3. 商品概要

監視・防犯カメラ 屋内専用・画角自由レンズ (バリフォーカルレンズ) 搭載型カメラです。※赤外線機能はありません。 主にご家庭・小規模店舗・商店様、また設備管理・ご法人様向けです。

画素数は、

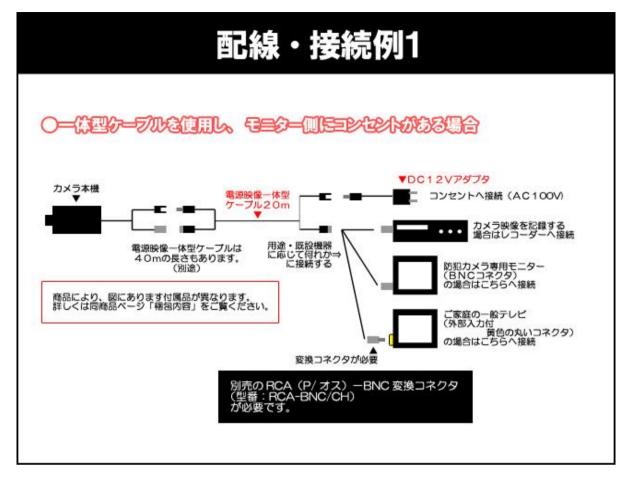
- アナログ52万画素シリーズ
 - ・ ドーム型・画角自由調整型(バリフォーカル)レンズ

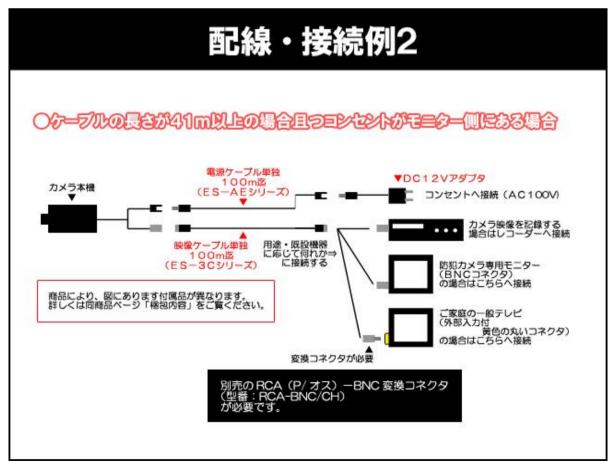
ホワイト: ES-CD241AW/V ブラック: ES-CD241AB/V

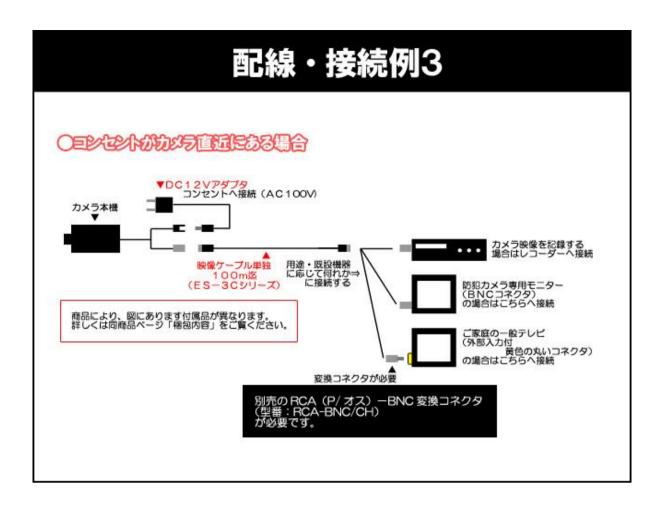
- AHD200万画素シリーズ
 - ・ ドーム型・画角自由調整型(バリフォーカル)レンズ

ホワイト : ES-CD241PW/V ブラック : ES-CD241PB/V

4. 配線全体接続例







5. 配線ケーブルご使用の際のご注意

電源映像一体型ケーブルは40mまでのケーブル長でお願い致します。 但し、

- 電源映像一体型ケーブル20mをジョイントして40mにする方法はノイズが発生・映像信号減衰による映像不良の原因となります。
- 電源映像一体型ケーブルを40mまで敷設する場合は、該当商品である電源映像一体型ケーブル40m (ES-2C2V40・別売) をご利用ください。

① 映像ラインのケーブル選定

| | 1 m~ 2 0 m | 21m~40m | 41m~100m | $101m\sim200m$ |
|------------|------------|-------------|----------|----------------|
| 一体型ケーブル20m | Δ | × | × | × |
| 一体型ケーブル40m | \circ | \triangle | × | × |
| 同軸ケーフ゛ル3C | \circ | 0 | 0 | × |
| 同軸ケーフ゛ル5C | \circ | 0 | 0 | 0 |

○ : 問題ない。

△: 電磁誘導の要因があった場合、映像にノイズが乗る場合がある。

× : 映像不良の誘発に繋がります。

※ 同軸ケーブルのインピーダンスは750で種類はFB・2Vどちらでも可。

② 電源ラインのケーブル選定

| | $1\mathrm{m}\sim20\mathrm{m}$ | $21 \mathrm{m} \sim 40 \mathrm{m}$ | 41m~100m | $101m\sim200m$ |
|------------|-------------------------------|------------------------------------|----------|----------------|
| 一体型ケーブル20m | 0 | × | × | × |
| 一体型ケーブル40m | 0 | 0 | × | × |
| 太さ0.9mmの2芯 | \circ | 0 | 0 | 0 |
| 太さ1.2mmの2芯 | 0 | 0 | 0 | 0 |

○ : 問題ない。

× : 電圧ドロップにより、カメラに十分電圧供給出来ない可能性がある。

※ 電源ラインで一体型ケーブル以外には、HP,CPEV,AE,OP線等。



電源ラインのケーブルにおいては0.9mm以下の使用は避けて下さい。 $%0.9 \sim 1.2$ mm推奨

③ 共通の注意事項



- ① 配線するケーブル線種の長さは上記表を遵守してください。
- ② カメラから機器側末端までケーブルのジョイントは極力避けて下さい。
- ③ ケーブルは強電ラインと確実に離して配線を行ってください。
- ④ 一体型ケーブル以外を使用する場合は、カメラ側・機器側に合うコネクタを別途、 お客様にて調達する必要があります。

④ 一体型ケーブル以外を配線した場合の、必要なコネクタ類

- 映像ライン (同軸ケーブルの場合) はインピーダンス75ΩのBNCコネクタ
 - 1) 同軸ケーブルは3C-FBの場合は3C用圧着式コネクタ 当社型番:BNC-3C 但し、コネクタを取付するには専用の圧着工具が別途必要です。
- 電源ライン(2芯ケーブルの場合)は以下の2点

1) DC12Vケーブルサキバラ用コネクタ/メスジャック・ネジ締式取付 当社型番: ES-DCP55JM 2) DC12Vケーブルサキバラ用コネクタ/オスプラグ・ネジ締式取付 当社型番: ES-DCP55PO

6. 設置丁事(全体の流れ)

① カメラ設置位置の選定

- カメラの設置位置を決めるため、設置予定箇所に仮設(手で持つ等)して実際にモニタリングしてください。
- 下記②にてカメラ固定が出来るかどうか、設置面に入線口用の開口が出来るかどうかの確認もする必要があります。
- 電源周波数50Hz地域(東日本)は照明直下・直近ですチラつきが発生する恐れがあります。極力照明から離し、 且つ照明が極力画像内に入らないよう角度調整してください。
- ◆ 本機は機種により、カメラと被写体との直線距離目安があります。これは顔などの証拠能力として捉えられる目安範囲(当社にてお勧め値・目安値)です。

・ ES-CW360シリーズ 3~8m ・ ES-CD200シリーズ 3~8m

・ ES-CW420シリーズ ズームアップ・ズームインが手動で可能: $2\sim15$ m

ES-CD241シリーズ ズームアップ・ズームインが手動で可能:2~15m ※ 本機

これを1つの目安として設置位置を検討してください。

● 設置位置(屋外・屋内)の設置可能場所は以下の通りです。

ES-CW360シリーズ 屋内・屋外(雨ざらし対応可)
 ES-CD200シリーズ 屋内・屋外(雨ざらし対応可)
 ES-CW420シリーズ 屋内・屋外(雨ざらし対応可)

・ ES-CD241シリーズ 屋内・屋外(水気の無い軒下は可能、雨ざらし不可) ※ 本機

② カメラケーブルの逃がす方法の決定

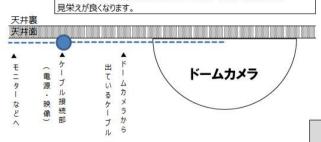
カメラケーブル配線ルートで、カメラ設置箇所により方法が異なります。

下記①のように天井裏へケーブルを逃がせない場合は設置面に、ケーブルを這わせます。

②のように天井裏などに逃がせる場合、は天井裏などにケーブルを這わせて隠ぺい配線が可能です。

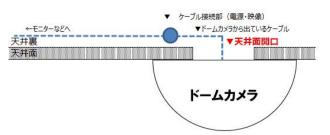
ドームカメラ:ケーブルの逃がし方①

天井は開口せずドームカメラの横から逃がして天井面をケーブルを敷設 します。ケーブル露出部はプラスチック・O A モールなどで隠蔽すると



ドームカメラ:ケーブルの逃がし方②

天井にコネクタ付ケーブルが十分入る程度の穴を空けます。 予め敷設したモニター側ケーブルとカメラを接続し、接続部分を 天井裏に入れてしまいます。それからカメラを取付け固定します。



一方で設置面裏側(天井裏)に逃がせない場合は、下記写真のように市販されているプラスチックモール等で配線を隠蔽す お部屋の美観を損なわず配線する事が出来ます。



← プラスチックモール 太さもいろいろあります。

③ カメラ設置面に対する支持材選定

設置しようとする壁面・天井の材質を確認してください。ここでは材質による、止め金具(ビス等)の例を挙げます。

- コンクリートの場合(ドリルで穴開け可能な躯体)
 - ・ 付属のカール P Cプラグと木ネジ
 - ・コンクリートビス



付属のカールPCプラグは横向きの場合のみ使用可。 縦方向での使用は避けて下さい。

- 石膏ボードの場合(1枚張り・2枚張り)
 - ・ボードアンカー
 - ・カベロック
- その他(上記2点以外の材質)

設置困難な場所(電柱・木材・凹凸部等)は、脱落防止の為、別途支持材(プルボックス・自在バンド等)を使用し、確実に固定出来る金具をご調達下さい。



注意事項

- 1) 脚立を使用して設置するような場所には、必ず支持ワイヤーで脱落防止措置を取って下さい。 太さは1mm程度が望ましいです。
- 2) カメラ設置後、躯体に確実に固定されているか必ずご確認をお願い致します。

④ 配線ルートの確保と配線工事

配線に関する注意事項は「配線ケーブルご使用の際のご注意」をお読みください。 配線工事時はケーブルを無理に伸ばしたり曲げたりしないで下さい。 必要以上な圧力をかけると、内部で折れたり切断されたりします。 また、カメラ側と機器側(モニター等)の両末端は若干たわみが出る程度の余裕な距離の確保をお願い致します。

※ 一体型ケーブルを使用する際の注意事項

一体型ケーブルの両端の電源コネクタ形状は異なります。 従って、一体型ケーブルを配線する場合以下のようになるよう配線をお願い致します。

機器側(モニター等) 電源ラインがメスになる カメラ側 電源ラインがオスになる



⑤ カメラの設置

下記2点は取付ベースをカメラから外してから施工する流れになりますので、P11よりご参照ください。

前頁の②で選定したカメラ支持材(ビス等)使用してカメラを確実に固定してください。 またカメラ設置の際、配線したケーブルとの接続をしておいてください。 その後、機器側(モニター等)を接続してください。 そして、最後にカメラへ電源供給するアダプタを接続してください。

⑥ 屋外で電源・映像一体型ケーブルを使用してカメラと接続した接続部分の保護方法

下記写真の接続部が屋外露出する場合、外気と水気に触れないよう、以下の写真のように接続部を電気工事用ビニールテープで保護してください。







▲ カメラ・一体型ケーブル 接続前

▲ カメラ・一体型ケーブル 接続後

★ 接続部をビニルテープで 厳重に保護する ※文房具テープは不可 電気工事用をご利用ください。

※電気工事用ビニルテーブはホームセンターの電気材料・資材コーナーなどで安価で入手可能です。

⑦ カメラ映像画角の調整

モニターに映像を映し出しながら、下記の方法に従って画角を調整してください。調整が終わったら、確実に固定してください。

画角調整方法はP13-「角度調整方法」をご参照ください。

これでカメラ設置は完了です。

⑧ バリフォーカルレンズ調整

レンズは手動調整でズームアップ・インが可能です。 この調整に伴いフォーカス調整が必要です。 調整方法はP13-「バリフォーカルレンズ調整方法」をご覧ください。

▼STEP1

天井面への設置方法でケーブルを露出配線にするか、天井裏隠蔽配線にするかを決定して ください。 そして予めモニター側などのケーブルを敷設した後、 天井裏隠蔽配線の場合は予め 天井面を開口してモニター側のケーブル(電源・映像)を接続してモニタリングなどが出来る 状態にしてください。





写真1をご覧ください。 矢印マーク付近に押し込めるボタン がありますのでそれを深く押します。 写真2のように、本体部分とカバー プレートが写真3のように分離する事 が出来ます。更に黒いカバー部の ビスを外して写真4のような状態に します。



プレートAタイプの場合)



プレートBタイプの場合

出荷時期により、写真6・7のプレートの外し方がBタイプの場合があります。 この場合は、写真5の工程を行わず、写真6 の工程で回転させるだけでプレートが外れます。

写真5の○部の爪を外側に押し込みます。 底面がブレートになっていますので、写真6 のように、ブレート部分を矢印の方向へ回し ます。 この時、写真5の爪を外側に押し込んだまま プレートを回してください。 写真7のようにプレート部分のみが外れます。



▼STEP3





次の工程としてSTEP2の写真7の円盤プレートをビスなどで固定しますが ビスなどの止め部材の選定が必要です。 (この時、本機から出ているケーブルを天井裏または設置面の内側へ逃が す場合は、予め開口しておく必要があります) 設置面の材質により止め部材を変えてください。 尚、同梱しておりますビスは設置面が木板の場合のみ使用してください。 以下は材質によっての適切な止め部材例を示します。

石膏ボードの場合:ボードアンカー、壁ロック、パット・ITハンガー コンクリート等の躯体:コンクリートビス(インパクト・ハンマードリル必要) 木板:同梱の木ビス他

当止め穴は5mm3点ですのでビスの太さは3~4mm が適切です。 同梱の木ビス以外はお客様にてご調達ください。 止め部材の選定を誤りますと落下・脱落の危険性があります。

▼STEP4 STEP2でプレートがBタイプの場合は写真8の工程は不要です。 そのままはめ込んで回し入れる事が出来ます。



既に設置してある写真9(プレ ート)と写真8(本機)を合わ せます。

この時、カメラから出ているケ ーブルを横から逃がす場合は 写真10の様に切り込みに固 定してください。

プレートとカメラを合わせたら、 カメラ側を設置面側へ強く押し 込みながら、カメラ側を時計 方向へ回します。





完全に回し切れた場合は、 写真8の爪が「カチャ」と音が します。

▼角度調整の方法



▼バリフォーカルレンズ調整方法





手順1:バリフォーカル(奥)のツマミを回します。 そうするとフォーカスが合わなくなってきます。 適度なところで一度止めてください。

手順2:フォーカス(手前)のツマミをどちらかに回して下さい。 次第にフォーカスが合ってきます。 フォーカスが合わずにツマミが止まってしまったら 逆方向へ回して調整してください。

手順3:希望の画角(撮影範囲の広さ)では無い場合、 手順1・2を繰り返してください。

手順4:画角・フォーカスが定まったら、ツマミがネジ式になっていますので手締めをして固定してください。この時、ツマミは手締めした余分な力でツマミがずれてしまう場合がありますので、慎重に行ってください。

●ご注意

フォーカス・バリフォーカルのツマミどちらかが最大の位置 で止まっている場合はフォーカスが合わない場合がありま す。 従って何れのツマミも最大まで回したら少し戻した状態に

して調整してください。

8. 赤外線I FDについて

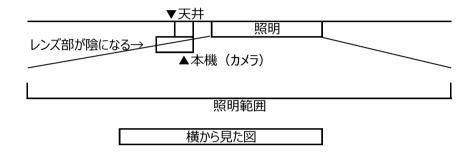
夜間(センサー部が明るさを検知して暗さを判断)になると、赤外線LEDが被写体に照射して証明がまったくない場所でも鮮明(映像は白黒)に映し出します。

しかしこれはあくまでも赤外線を被写体が浴びて、浴びた被写体だけ映像として捉えるので、上記の赤外線投射距離を明らかに超える、遠くの風景はカメラは捉えることが出来ません。

従って、上記赤外線投射距離を超える遠くの風景をカメラが狙っていた場合は何も映りませんが、この時に赤外線投射 距離内に人や車が通貨した場合はカメラは捉えることが出来るという仕組みです。

赤外線LEDについて以下のご注意事項があります。

① 明るい場所でも以下のような条件の場合、赤外線LEDが作動して映像が白黒になる場合があります。



- ② 照明の色が通常の蛍光色以外で周囲が明るい場合でも赤外線LEDが作動して映像が白黒になる場合があります。
- ③ メインとなる被写体に補助的にセンサーライトなどの照明を夜間に照射した場合、その光を本機が拾って、本機の赤外線 L E Dが作動しない場合があります。 この場合、被写体を鮮明に捉える事が出来ない可能性があります。 補助照明がある場合は、かならず夜間時に赤外線LEDが作動するか否か? 被写体はイメージ通りに捉える事が出来ているか否かを画像で確認する必要があります。

9. レコーダーで本機を録画するときの注意点

① アナログ52万画素シリーズの場合

レコーダーで録画する場合のエンコードは「960H」で録画します。 またエンコード設定で「960H」の設定項目があるレコーダーのみで録画する事が出来ます。

② AHD200万画素シリーズの場合

レコーダーで録画する場合のエンコードは「1080P」で録画します。 またエンコード設定で「1080P」の設定項目があるレコーダーのみで録画する事が出来ます。

10. 本機画素数とモニター画素数

本機画素数は52万画素または200万画素ですが、モニター側がこれを下回る画素数ですと本機本来の画素数が保てません。

モニター表示する場合は、モニター側の画素数もご注意ください。

また本機をレコーダーやコンバータ経由で130万画素や200万画素出力(VGAかHDMI出力) した場合は、本来の52万画素より鮮明に映ります。

11. カメラ外観図



12. カメラ仕様 (アナログ52万画素シリーズ)

| | ▼本機▼ | | | | |
|--------------|---|----------------------------------|---|--------------|--|
| 総画素数 | 52万画素(960H) / アナログ | | | | |
| 型番 | ES-CW360AW/C | ES-CD200AW/C | ES-CW420AW/V | ES-CD241AW/V | |
| 空田 | ES-CW360AG/C | ES-CD200AB/C | ES-CW420AG/V | ES-CD241AB/V | |
| 外観 | | | | | |
| ボディーカラー | ホワイト ダークグレー | ホワイト ブラック | ホワイト ダークグレー | ホワイト ブラック | |
| 形状 | 筒型 | ドーム型 | 筒型 | ドーム型 | |
| 設置可能箇所 | | 屋内·屋外 | | 屋内·屋外軒下 | |
| 防塵·防雨仕様 | 0 | : IP66(雨ざらし対応 | <u>'</u>) | ×:雨ざらし非対応 | |
| ボディー材質 | | アルミ合金 | | プラスチック | |
| 赤外線LED·投射距離 | 36灯·20m | 24灯·20m | 48灯·40m | 無 | |
| 被写体識別目安距離 | 2~ | 5m | 2~15m | | |
| 搭載レンズ | 3.6mm | (固定) | 2.8~12mm(手動調整可) | | |
| 画角範囲 | 水平約67° | 垂直約53° | ズームアウトMAX時:水平81° 垂直64° ズームインMAX時:水平22° 垂直17° | | |
| CCD/解像度/F值 | 1/3' CMOS / 800TvL / 画像明るさ指標2.0(標準) | | | .0(標準) | |
| ビデオ・音声信号出力形式 | ●映像: NTSC / CVBS (コンポジット映像信号) / 1Vp-p:75Ω ●音声なし | | | | |
| 各種レベル調整 | | 電子シャッター1/60sec / 映像レベル調整:固定 /色彩記 | | | |
| 電源/消費電流/電力 | DC12V/300mA/3.6W | | DC12V/600mA/7.2W | | |
| 重量[g] | 320 | 280 | ホ660/ダ 700 | 270 | |
| 寸法[mm]·詳細別項 | 横85-奥200 | 底面径93-高78 | ホ横74-奥254/ダ横74-奥305 | | |
| 使用温度範囲 | -5 ℃ ~ +40 ℃ | | | 0℃ ~ +40 ℃ | |
| 付属品 | | | | | |
| 製品保証期間 | 2年間(別途有償で合計3年保証制度有) | | | | |

13. カメラ仕様 (AHD200万画素シリーズ)

▼本機▼

| 総画素数 | 200万画素(1080P) / AHD2.0 | | | | |
|--------------|---|---------------------|---|------------------------|--|
| 型番 | ES-CW360PW/C | ES-CD200AP/C | ES-CW420PW/V | ES-CD241PW/V | |
| 空田 | ES-CW360PG/C | ES-CD200AP/C | ES-CW420PG/V | ES-CD241PB/V | |
| 外観 | | | | | |
| ボディーカラー | ホワイト | ホワイト | ゛ホワイト | ホワイト | |
| | ダークグレー | ブラック | ダークグレー 筒型 | ブラック | |
| 形状 | 筒型 | 筒型ドーム型 | | ドーム型 | |
| 設置可能箇所 | | 屋内·屋外 | | 屋内・屋外軒下 | |
| 防塵·防雨仕様 | 0 | : IP66 (雨ざらし対応 | <u>'</u>) | ×:雨ざらし非対応 | |
| ボディー材質 | | アルミ合金 | | プラスチック | |
| 赤外線LED·投射距離 | 36灯·20m | 24灯·20m | 48灯·40m | 無 | |
| 被写体識別目安距離 | | ·5m | 2~15m | | |
| 搭載レンズ | 3.6mm | (固定) | 2.8~12mm(手動調整可) | | |
| 画角範囲 | 水平約67° | 垂直約53° | ズームアウトMAX時:水平81° 垂直64° ズームインMAX時:水平22° 垂直17° | | |
| CCD/解像度/F值 | 1/3' CM0 | , | 画像明るさ指標2.0(標準) | | |
| ビデオ・音声信号出力形式 | ●映像: NTSC / CVBS (コンポジット映像信号) / 1Vp-p:75Ω ●音声なし | | | | |
| 各種レベル調整 | 電子シャッター1/60sec / 映像レベル調整:固定 | | | | |
| 電源/消費電流/電力 | DC12V/500mA/6W | | DC12V/700mA/8.4W | | |
| 重量[g] | 320 | 280 | ホ660/ダ 700 | 270 | |
| 寸法[mm]·詳細別項 | 横85-奥200 | THE PERSON NAMED IN | ホ横74-奥254/ダ横74-奥305 | /_VIIII (X = 2) 1-300 | |
| 使用温度範囲 | | -5 ℃ ~ +40 ℃ | | 0℃ ~ +40 ℃ | |
| 付属品 | | | | | |
| 製品保証期間 | 2年間(別途有償で合計3年保証制度有) | | | | |

14. アフターサービスについて

1. 日頃のお手入れについて

3カ月に1度は、本機の外観のホコリ等の除去をお願い致します。

2. 本機に異常が見られたとき

- ① 保証期間内に異常が見られた場合は、別紙保証書の保証規定をご覧ください。
- ② 保証期間外に異常が見られた場合ですが、一度当社へご連絡をお願い致します。 当社は安価型システム販売専門としている為、安価型商品を修理致しますと、以下のような項目の費用が 発生し、最終的には新品価格と同等以上になります。
 - 1) 修理部品(症状により様々)
 - 2) 修理工賃
 - 3) 諸経費
 - 4) 配送費

従いまして、原則修理は受け付けておらず、新品への更新をお勧めしております。 但し、不具合の症状の中には本機異常以外の理由で、

例1:映像にノイズ発生。

実は、コネクタ接続部の接触不良で本機には問題なし。

例2:映像が映らなくなった。

実は、モニターの電源が付かなくなっていた。

という事も御座いますので、機器点検は当社にて受け付けております。 エンドユーザー様より当社への発送費用保証期間内は着払い(発着・弊社負担)、 保証期間外は元払い(発着・お客様ご負担)になります。

その点検にて軽微な症状例の場合ですが、以下に例を明記します。

例1:ケーブル類の接触・断線寸前(カメラ関係でよくある症例)

⇒ 修理可能

例2: 内部バッテリー、HDD異常(レコーダー関係でよくある症例)

⇒ 修理可能

というように、軽微な症状例ですと修理は可能で御座います。 点検ご依頼の際は、点検結果をご報告致し、その際に軽微な症状に対する修理が可能と判断させて 頂いた場合は、お見積り金額も提示させて頂きます。尚、点検は無料にて行っております。

尚、廃棄物処理は受け付けておりませんので、当社へお送りして頂いた商品は必ずご返送させて頂きます。

3. その他ご不明な点に付きましてはお問合せください。

合同会社エレックスシステム Tel 045-317-9873 FAX 050-3156-3747

Copyright © ELEX SYSTEM. All Right Reserved.